



女を何だと思ってやがる

彼女が、どんな事をされているか、ここにぶちまけたいのはヤマヤマですが、プライベートな事ですし、アダルト過ぎて書けません。私がされた事でも充分気持ち悪いのですが、私はその社員ではないですし、ちょっと切り札を使いましたので現在は安全です。彼女は、危険が増す一方、、、。

相談されて、悔しいだろうが会社を辞めろと助言しました。彼は辞めないし、セクハラも止めないとハッキリしているからです。そして、彼女は、どうしてもそこじゃなきゃってわけじゃないから。夢も他にあるから。会社を辞めれば追っては来られない。会社では、大なり小なり心無い人達から色々な目にあいます。男性にだってイジメはありますしね。が、皆、笑ってやり過ごしています。愚痴って忘れるようにしています。それが会社です。違うと思いたいですが、そうだと思ったので、私は会社員を辞めたのです。勿論、今の仕事でも嫌がらせはありますけど（笑）。

私は、彼女がこのままでは精神的に疲れ果てるのではないかと心配でした。次の人生に行くエネルギーまで失せるのではと。が、分かりました。彼女は辞める気がないって。理由は二つ挙げていました。ひとつは、これは女性全体への冒涇だから許せないとでも言ったらいいでしょうか。もうひとつは、自分が辞めたら後輩がターゲットにされると分かっている、、、。確かに。実は、私にチョッカイ出した次が彼女だったのです。私は、なんともいやはやお願いを二つされただけで、訳なんか言うに値しないと思い、単に断りましたが、頼む位のヤツなので恥を知らない。しつこく頼む、、、。セクハラって言葉をついに出したら逆ギレ、、、。逆ギレしつつ、まだ迫る、、、。私は、このワタクシに向かってそんなお願いをクチにするだけでも失礼にも程があると思い、切り札を切りました。切り札が何かは言えません。すみません。で、彼は一瞬で大人しくなりました。ふんっ！相手を見てからセクハラしな！が、私も安く見られたものだと思省。彼に親切にしていたのでつけ込まれたのだと思います。勿論、ストーカーやらイジメと同じで、何の落ち度もなく、やられる時はやられるんですけれど。

その後は、以前から結構そういうキャラをして距離を置いていたように、彼の母親みたいに振舞う事で手出しが出来ない状態をキープ。普段、男達の母親達からは随分な目にあわされている事です（笑）、ここぞと「母親」を利用しない手はない。が、目上の方が相手ですし、高等テクではあります。

なので、彼女には別の策を提案しておきました。二段構えになっているので、最初が失敗でも、次のがヒットするかもしれず、それでもダメだったら、やはり辞める事を勧める気がします。イカレ野郎を相手にするのは不毛なので。私なぞ、会社を辞めたら終わりってなってくれないストーカーが憑いてます（笑）。膨大なエネルギーが消耗されます。精神障害として、法が守るのはストーカー側。つまり、私は勝てないのです。でも、私の存在そのものが、ストーカー目には「負けてない」と映っている事でしょう。

「イジメてみやがれ!!!」のコスケですが、一人っ子だったんです。で、ある日なんとなく聞いてしまった。一人っ子って楽しいの？すると、楽しいよ！とムキになって言うので、どんな

風に？と聞いてしまった。お父さんと、お相撲とったり！と答えたので吹き出してしまった、、。だって、中学生にもなった女子が、父親と相撲って、私としては面白かったんです。多分、コスケはそれを根に持ったのでしょう。だから、私もいけなかった。

が、一人っ子全員に聞いて回ったわけじゃない。聞かれたコスケもコスケだったのです。私に言わせて貰えば。コイツ、うちじゃ王様してるんだろなって所が多かったんで、一人っ子の生態に関心を持ってしまった。そのキッカケがたまたまコスケだった。なので、コスケに尋ねた。ママが私を可愛いって言ってくれてるモン！と、自分を可愛いと信じている子に、いや～、それはママだから言ってくれてるんだよ～と指摘した事はないのですが、指摘同然な言動を取る所が私にはあり、違う局面では「天然」と呼ばれていますが、そういう局面では友人らはヒヤヒヤものなのです。

大人になっても、ちっとも学習しないので、そんな私でも良いつて人だけが残ります。

恐らく、誰よりオレ様なのは私でしょう。

自意識過剰と思って貰えたら、逆ラッキーです（笑）。